

特集

パブリックスペースを みんなで作るには

土木分野ではパブリックスペース（公共性のある空間のこと）を対象として扱うことから、従来、地域の方々と合意形成・協働は重要で、望ましいあり方を数多くの研究や実践を通じて模索されてきました。

ただ日本では、「納得できる根拠がない」「情報発信や対話の手続きが不十分」といった点から合意形成が適切に行われていないことがあります。さらに近年、2つの観点から合意形成・協働はより難しくなっています。

1点目は、SNSの普及です。個人が社会へ意見を発信しやすくなって、「なぜこの形になったのか」「なぜこの整備がなされたのか」という根拠や説明がないパブリックスペースには、厳しい意見がWEB上で交わされ、結果として再整備が強いられるケースもあります。

2点目は、ユニバーサルデザインやインクルーシブ等、社会を包摂する概念が普及していることです。納得できる、みんなが使いやすいパブリックスペースを検討していく際には、障がい者をはじめ、より多くの地域の人々の協働が必要です。

コロナ禍の時代を経て、地域のことは地域の人々で考え、決めていくということも増えていくはずですが、適切に合意形成・協働を行うことで地域に仲間が増え、より良いパブリックスペースが創出できるかもしれません。しかし、適切な合意形成・協働とはどのようなあり方でしょうか。

本特集では、仲間をつくり、納得しながら、みんなでパブリックスペースをつくっていくためのあり方を紹介します。この特集が、地域が一体となった、気持ちの良いパブリックスペースの創出に寄与することを期待しています。

- ① 千里中央駅前（大阪府豊中市）／有賀圭司
- ② 日比谷公園（東京都千代田区）／有賀圭司
- ③ 千疊敷高原キャンプ場（山口県長門市）／佐々木勝
- ④ 富山県立美術館屋上（富山県富山市）／山上英之
- ⑤ 六合夜市の屋台（台湾、高雄）／惣慶裕幸
- ⑥ ダイアナ・メモリアル・ファウンテン広場（イギリス、ロンドン）／金野拓朗
- ⑦ 旧国鉄手宮線オープンスペース（北海道小樽市）／有賀圭司
- ⑧ 東急電鉄多摩川駅前（東京都大田区）／有賀圭司
- ⑨ 東京駅と丸の内駅前広場（東京都千代田区）／惣慶裕幸
- ⑩ 神戸旧居留地（兵庫県神戸市）／加地智彦
- ⑪ ラスベガス・マッカラン国際空港（アメリカ、ネバダ州）／佐々木勝

